

## 1. < 施策の概要 >

基本理念	次世代を担う豊かな心と創造力を育む教育環境のまちづくり	統括課	教育部 生涯学習課
基本方針	生涯学習		
施策名	体育振興	関連課	
方針・目標等	◆いつでも、どこでも、だれでもが気軽にスポーツに親しめるよう、各種事業を実施し、スポーツ振興を図っていく。		
実施内容	◆ジュニアスポーツ教室、中高年向けスポーツ教室、スポーツ体験デー、むくのきセンターアリーナ一般開放、夏休み小学校プール一般開放など。 ◆体育指導委員会、NPO法人精華町体育協会等との協働による、町民体育大会、精華マラソン、スポーツサンデーなど。		

## 2. < 指標の設定 >

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	○ スポーツ施設利用者数	名	木津川市 1,136,465	21	統計資料			
②	○ スポーツ事業等参加者数	名	木津川市 5,179	21	統計資料			
③	スポーツクラブ会員数	名	木津川市 3,717	21	町登録者数			
④								
⑤								
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(試算)	H24(試算)
①	目標		171,000	172,000	179,000	181,000	183,000	184,000
	実績		164,794	172,459	179,806	181,785		
②	目標		11,000	11,000	13,000	17,500	18,500	18,600
	実績		12,980	11,647	16,060	13,397		
③	目標		2,200	2,300	2,400	2,500	2,600	2,700
	実績		2,292	2,476	2,535	2,772		
④	目標							
	実績							
⑤	目標							
	実績							

### 3-1. < 指標から読み取れる成果と課題 >

・スポーツ事業等の参加者については徐々に増えてきている。各小学校区でのスポーツ体験デーや月1回のむくのきセンターアリーナの一般開放の実施、体育指導委員による子ども会や地域団体へのスポーツ指導などによる成果が出てきている。

・各スポーツ施設を使用させていただくにあたって、日程調整会議を、前半期分と後半期分の年2回開催し、使用団体の利便を図ることができた。

・町民が日常生活のなかにスポーツを取り入れ、健康でいきいきとしたスポーツライフを実現していただくために、スポーツ事業等への参加を促す啓発活動の実施が必要である。

### 3-2. < 住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点 >

・各種スポーツ事業や教室の実施にあたっては、より一層、住民のニーズを把握していく必要がある。

・スポーツ振興の核となる高い資質を持った指導者の育成、発掘が課題である。

・町民が身近にスポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブの創設も念頭に置きながら、その基盤となる各小学校区単位の体育振興会の組織化に向け、地域での指導者の発掘など、関係団体と連携を図りながら進めていく必要がある。

#### 4-1. <施策を構成する事業>

	重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(予算)	H24(試算)
1	○	生涯学習課	-	-	3,341	3,954	4,403	4,574
		生涯スポーツ振興事業	2,291	2,354	2,117	2,380	2,829	3,000
		一般事業 261	-	-	1,687	2,072	2,347	2,500
2	○	生涯学習課	-	-	11,786	11,735	11,735	11,735
		体育協会助成事業	10,554	10,560	10,560	10,560	10,560	10,560
		一般事業 261	-	-	10,560	10,560	10,560	10,560
3	○	生涯学習課	-	-	25,501	30,968	37,483	37,572
		町立体育館維持管理	22,186	25,228	23,471	28,596	35,111	35,200
		一般事業 261	-	-	11,390	16,293	27,624	27,700
4		生涯学習課	-	-	1,604	1,565	1,570	1,576
		体育指導委員会運営事業	774	790	784	789	794	800
		一般事業 259	-	-	784	789	794	800
5		生涯学習課	-	-	1,670	1,214	1,295	1,296
		社会体育運営事業	440	460	446	438	519	520
		一般事業 261	-	-	446	438	519	520
6		生涯学習課	-	-	11,489	6,621	4,609	4,675
		体育施設運営事務	7,770	5,898	9,861	5,446	3,434	3,500
		一般事業 261	-	-	9,861	5,446	3,434	3,500
7		生涯学習課	-	-	9,267	9,935	11,162	11,172
		体育施設維持管理事業	8,875	7,329	7,237	7,963	9,190	9,200
		一般事業 263	-	-	4,209	4,938	3,890	3,900
8		生涯学習課	-	-	-	1,425	-	-
		体育施設整備事業(きめ細かな交付金)	-	-	-	850	-	-
		投資的事業 263	-	-	-	850	-	-
9		生涯学習課	-	-	1,869	1,747	1,839	1,876
		学校開放維持管理事業	959	999	1,049	971	1,063	1,100
		一般事業 263	-	-	1,049	971	0	0
10		生涯学習課	-	-	-	2,222	-	-
		体育施設改修事業(きめ細かな臨交金)(繰越明許)	-	-	-	1,646	-	-
		投資的事業 265	-	-	-	1,646	-	-

#### 4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

- ・各種スポーツ教室の開催や、NPO法人精華町体育協会との協働によるスポーツ事業の開催など、町民にスポーツ活動の場を提供することができた。
- ・スポーツ事業等の開催の情報提供(「広報誌『華創』」やホームページ掲載等)を積極的に進めることにより、施設利用の促進や参加者の増加が図ることができた。
- ・小学校単位でスポーツ体験デーを開催したことによって、地域住民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりを進めることができた。

#### 5. <施策の今後の方向性>

- ・生涯スポーツの振興のため、各種スポーツ事業や教室については、住民ニーズに合った事業となるよう、体育指導委員会やNPO法人精華町体育協会等関係団体を通じてニーズの把握に努めるとともに、関係団体との連携を強めながら、より地域に根ざした取り組みを進めていく。
- ・各種スポーツ事業や教室における関係機関や関係団体などとの連携の中から、指導者を発掘していきたい。
- ・体育施設の管理運営方法については、財政状況からの視点やスポーツ振興からの視点など総合的な観点から、適正なあり方について検討を進める必要がある。